

神奈川県教育委員会教育長 殿

県立横浜立野高等学校長

平成27年度学校目標設定報告書

次のとおり学校目標を設定しましたので報告します。

学校目標	取組の内容	
	具体的な手立て	評価の観点
<p><教育課程> 生徒の特性等に対応した、魅力があり繋がりのある教育課程を編成する。</p>	<p>①生徒の特性を生かすため、生徒にわかりやすく選択しやすい教育課程を編成する。 ②生徒の人間としての調和のとれた育成をめざし、適切な教育課程の運用に取り組む。 ③生徒の特性を見据えた学習機会を提供し、適正な進路選択に寄与する教育活動を展開する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の特性やニーズに応じた教育課程の編成、運用ができたか。 生徒が進路選択に応じた科目選択ができたか。
<p><生徒指導・支援> 生徒の自主性を育み、社会性を身につけるための生徒指導を充実させる。</p>	<p>①基本的生活習慣を確立させるとともに、いのちの尊重に関する教育を推進する。 ②身だしなみ指導、遅刻指導、交通安全指導、通学路指導の充実を図る。 ③教職員間、教職員と生徒、生徒相互のコミュニケーションの充実を図り、豊かな人間づくりを推進する。 ④生徒一人ひとりが互いの存在を認め、協力できる良好な人間関係を築き、充実した学校生活を送れるように生徒を支援する。 ⑤生徒会、部活動等での充実を図り、生徒の主体的な活動や活躍ができるように支援する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 規範意識の醸成ができ、社会人としての意識を高められたか。 授業、面談を通して、いのちの授業の充実、各指導の充実が行えたか。 心の悩みやストレスを抱える生徒へ支援ができたか。 生徒の活動や活躍の場の拡充や展開ができたか。
<p><学習指導・授業改善> 自学自習を通して学ぶ力を身につけさせ、学力の向上を図る。</p>	<p>①確かな学力向上のための組織的な授業改善に向けた研究授業、公開授業を実施する。 ②自己の目標達成に向けた学習計画を立てやすくするため、生徒に指導及び評価の計画を提示して授業の目的を明確化する。 ③生徒の学習意欲向上に向け、補習・講習の充実を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 授業改善のための研究授業・公開授業を実施し、振り返りを行うことができたか。 指導と評価の計画を提示し、授業における学習内容の計画を生徒に説明することができたか。 生徒のニーズや学力に応じて、長期休業中を中心として充実した補習・講習を実施できたか。
<p><キャリア教育> 生徒一人ひとりの希望する進路を見据えたキャリア教育を推進する。</p>	<p>①社会貢献できる人材育成を推進する。 ②将来の生き方を考察できる能力の育成のため、総合的な学習の時間の充実やインターンシップ、ボランティア活動、校外学習、学びの場への参加を推進する。 ③生徒、保護者に向けた進学マインドサポートのための講演会、ガイダンスの開催を推進する。 ④積極的に社会参加する能力や態度の育成のために、シチズンシップ教育を推進する。 ⑤学校外の教育力を活用し、幅広い教養を身につけさせるとともに、生きる力を育成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 社会貢献できる人材の育成のため、将来の生き方を考察できる能力を高められたか。 インターンシップ、ボランティア活動、校外学習、学びの場などへの支援はできたか。 進学マインドサポートの講演会、ガイダンスの拡充や展開ができたか。 シチズンシップ教育の拡充や展開ができたか。
<p><地域等連携> 地域に開かれた、信頼される学校づくりを推進する。</p>	<p>①地域の小中学校との連携を推進し、地域貢献活動を拡充する。 ②講演会など保護者や地域と連携した教育活動を行う。 ③学校説明会などの内容を精査し、目的に応じた情報発信を効果的に行う。発信においてホームページを活用し更新を頻繁に行う。 ④保護者・地域の方々の要望、意見を反映できる学校評価システムへ拡充する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が地域のボランティア活動に参加できる場の提供ができたか。 近隣の学校や企業等外部機関と連携し、生徒、保護者対象の講演会が実施できたか。 ホームページを年間12回の定期的な更新を行い、学校行事等に応じて随時発信できたか。 学校説明会への参加者を募集定員の2倍以上とし内容の精査ができたか。 意見を反映できる学校評価システム機能の検討が行えたか。
<p><学校運営・学校管理> 生徒が安心して学べる教育環境の整備に努める。</p>	<p>①安心して学習に取り組めるように、校内外の環境を点検し必要な整備を行う。 ②自らのいのちを自らの力で守るための防災に関する教育を推進する。 ③グループにおけるテーマ別の事故防止啓発活動の活性化の検討を行う。 ④校舎の現状を維持できる清掃体制や方法の検証を行い、環境美化と生徒の健康・安全を推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が安心して学べる環境整備に努められたか。 防災訓練や防災教育の実施が効果的に行えたか。 不祥事防止研修会を、テーマ別で実施できたか。 生徒主体的な清掃活動や健康・安全が推進できたか。

教育目標～梅の校章に象徴された香り高い人格の形成を目指す。

教育方針～ア 自主的で気力と責任ある態度を養う。 イ 気力を充実し、教養を高める。

ウ 情操を豊かにし、意思を堅くする。

エ 心身ともに健康で、安全に努める。

オ 自他を敬愛し、公正に生きる。

カ おのれを生かし、人のために尽くす。

